

●水環境・モデル(1) (3-C-09-1～3-C-10-2)

本セッションでは水環境，モデルに関する発表が6題あった。適応場に応じた，簡易なものや詳細なものなど多岐にわたるモデルの報告がなされるとともに，モデル構築のために必要なデータ収集に関する発表がなされ，会場からも活発な討議がなされた。

3-C-09-1 は，水田からの栄養塩流出特性について調査・解析したものであり，耕起前後では流出特性が変化することと，それに応じた L-Q 式の適用について報告された。

3-C-09-2 は，実務上容易に利用できるデータを主体とした簡易シミュレーションを行ったものである。流量や COD についてほぼ結果を再現できるものとなっており，今後降雨状態時への拡張をも含めた更なる発展が望まれる。

3-C-09-3 では，IWA RWQM No.1 による水質モデル式と沈降-巻上式を組み合わせたシミュレーション式により河川水質と堆積量予測が行われ，水質改善方法についての検討結果についての報告がなされた。沈降速度式の実測値に基づく改善や，適用場での植生状況による考慮点について討議が行われた。

3-C-09-4 は，天橋立における汚濁負荷流入モデルについての構築がなされたものである。年間流入汚濁負荷の推定等がなされ定量的な解析が行われている。研究対象流域の発生負荷源としては農業系の割合が高いことから，近年の阿蘇海の水質変化の要因解明とその対策について意見交換がなされた。

3-C-10-1 は，内湾の複合生態系を表現する詳細なモデル開発と，その検証結果を報告したものである。底生系も含めてそこでの酸素の挙動が環境改善や悪化に関する重要なファクターのひとつであることや，環境保全についての著者らの概念についても報告がなされた。

3-C-10-2 は，実際の路面排水中の塵埃について特性を明らかにした報告である。塵埃中の金属類に関して，塵埃粒径や水中での沈降速度からキャラクタリゼーションを行っており，特に Mn の挙動が他の金属類と異なっていることを報告している。

(京都大学大学院工学研究科 西村 文武)